学校番号	４０５

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選古典Ｂ　新版」　（東京書籍）						
副教材等	「新国語便覧」（大修館書店）　「基礎からの古典文法」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音読を重視します。
古文・漢文のリズムを体得しましょう。有名な古文・漢文の作品を味わい、古典作品を好きになりましょう。現代にも残ることわざ、故事成語、文学事蹟に過去と現代繋がりを感得しましょう。説話・随筆・物語・紀行・日記など様々なジャンルの教材を学習します。正しく内容を理解できるよう、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。

２　学習の到達目標

すらすらと文章を読めるようにする。語彙力をつけ、文法の基礎的な知識を巧みに身につける。我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典の文学作品を読みたいと思う生徒を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	①　行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度） ②　記述の確認（ノート、プリントなど）	①　行動の観察（学習活動における発言内容）	①行動の観察（学習活動における発言内容） ②記述の確認（ノート、プリントなど） ③定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	説話・随筆を味わう	教材:宇治拾遺物語 小野篁、広才のこと 教材:古今著聞集 能は歌詠み	○	○		a:筆者の視点の面白さに関心をもつ b:当時と現代との共通点に気づく	行動の観察(学習活動における発言内容) 記述の確認(ノート、プリントなど) 定期考査
	物語を味わう	教材:伊勢物語 初冠 教材:平家物語 忠度の都落ち	○	○	○	a:話の内容を理解している b:歴史上の出来事について、自分の判断をもつ c:登場人物の心理を読み取る	行動の観察(学習活動における発言内容) 記述の確認(ノート、プリントなど) 定期考査
二学期	日記・紀行を味わう	教材:更級日記 門出 教材:徒然草 家居のつきづきしく	○	○	○	a:日記文学を味わう b：当時と現代との共通点に気づく c:俳句の修辞法を理解する	行動の観察(学習活動における発言内容) 記述の確認(ノート、プリントなど) 定期考査
	物語を味わう	教材:源氏物語 若紫	○	○	○	a:場面と、人物達の心情を読み取る b:当時と現代との共通点に気づく c:登場人物の心理を読み取る	行動の観察(学習活動における発言内容) 記述の確認(ノート、プリントなど) 定期考査
三学期	漢文・漢詩を味わう	教材:漢文 小話 教材:漢詩 宿建徳江 黄鶴楼	○	○	○	a:人物の心情を読み取る b:当時と現代との違いを考える c:故事成語の成り立ちを学ぶ c:漢詩の基本的知識を理解している	行動の観察(学習活動における発言内容) 記述の確認(ノート、プリントなど) 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。